

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第33週
(8月11日～8月17日)

- * 2008年8月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2008年7月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年8月21日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	62	89	88	76	2671	293	16636
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ			1		4	1	33
	細菌性赤痢	1		1		38	4	183
	腸管出血性大腸菌感染症	7	14	31	49	198	216	2310
	腸チフス					6		30
	パラチフス					5	1	22
四類	E型肝炎				1	6		32
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1	1		20	3	117
	エキノкокクス症							8
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症						1	2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5		121
	デング熱			1	1	16	3	45
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						6	34
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドライウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1				12		26
	野兔病							4
ライム病							3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	4		1	46	13	543	
レプトスピラ症						1	4	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	4	7	6	123	10	545
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1				23	4	148
	急性脳炎 ***			1		7	1	121
	クリプトスポリジウム症					2	1	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11	2	102
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	16	1	77
	後天性免疫不全症候群	10	13	8	8	347	22	944
	ジアルジア症				1	17	2	53
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	5	3	3	125	10	510
	破傷風			1		4	2	70
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				10	2	54
	風しん			1	3	35	2	261
	麻しん	14	7	5	4	1127	32	10635
2008/8/20集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 76件 肺結核46件、その他30件で、推定感染地は国内70件、中国1件、フィリピン1件、国内/アフガニスタン1件、国内/フィリピン1件、不明2件。年齢は10歳未満3件(うち5歳未満2件)、10歳代3件、20歳代12件、30歳代9件、40歳代9件、50歳代6件、60歳代17件、70歳代7件、80歳代9件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 49件 有症状者31件、無症状病原体保有者18件、血清型・毒素型はO26(VT1) 18件、O157(VT2) 18件、O157(VT1VT2) 8件、O111(VT1) 3件、O103(VT1) 1件、O157(VT1VT2)とO103(VT1)の重複感染1件で、年齢は10歳未満19件(うち5歳未満11件)、10歳代6件、20歳代11件、30歳代4件、40歳代3件、50歳代4件、60歳代1件、70歳代1件であった。O26(VT1)の15件は八王子市内の保育園における集団発生と関連していた。別のO26(VT1)の1件は第31週に報告された患者と同じ保育園に通園。別のO26(VT1)の1件はカンピロバクターとの重複感染で、レバ刺し喫食との関連が疑われている。O157(VT2)の4件は第32週に報告された患者の同居家族で、すべて無症状病原体保有者である。O111(VT1)の3件は同居家族であり、うち有症状1件である。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は中国で、飲食物による経口感染が疑われている。

デング熱 1件 推定感染地はタイ/マレーシアで、血清型は不明。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、患者は60歳代男性。ポンプ関連業務に就いており、関連が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 腸管アメーバ症3件、腸管外アメーバ症3件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、異性間1件)、飲食物による経口感染1件、不明3件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 G群で、壊死軟部組織から菌が分離・同定されている。感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア7件、AIDS 1件で、推定感染地は国内7件、不明1件、推定感染経路はすべて性的接触(同性間5件、異性間3件)であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はペルーで、飲食物による経口感染が疑われている。

梅毒 3件 早期顕性梅毒Ⅱ期2件、無症候梅毒1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間1件)であった。

風しん 3件 検査診断例1件、臨床診断例2件で、年齢は5歳未満、5～9歳、20歳代が各1件(すべて女性)、風しん含有ワクチン接種歴は無し1件、1回2件であった。

麻しん 4件 麻しん(検査診断例)2件、麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は10歳未満1件、20歳代2件、40歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明3件であった。

※32週分として、三類感染症のコレラ1件、細菌性赤痢1件、腸管出血性大腸菌感染症2件が追加報告されている。

定点把握対象疾患 報告数 2008年33週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		30週	31週	32週	33週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	1	14	8	10	0.07	136	150
	咽頭結膜熱	121	132	128	62	0.46		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	129	150	95	57	0.42		
	感染性胃腸炎	505	494	455	315	2.32		
	水痘	102	100	79	52	0.38		
	手足口病	257	249	230	142	1.04		
	伝染性紅斑	13	13	11	6	0.04		
	突発性発しん	92	114	113	66	0.49		
	百日咳	3	5	8	0	0.00		
	ヘルパンギーナ	666	709	404	227	1.67		
	流行性耳下腺炎	100	100	89	51	0.38		
	不明発しん症 (注1)	37	21	19	18	0.13		
	MCLS(川崎病) (注1)	1	4	1	1	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	4	4	5	0	0.00	266	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	0	1	1	0.03	36	39
	流行性角結膜炎	19	27	23	15	0.42		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	1	1	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	3	3	3	2	0.09		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/8/20集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。今後も減少傾向と思われるが、非流行期よりは高いレベルにあるので、引き続き注意が必要である。
- ・手足口病の定点当たり報告数は減少した。今後も減少傾向と思われるが、非流行期よりは高いレベルにあるので、引き続き注意が必要である。
- ・百日咳の報告数はなかった。一時的なものかどうか今後の推移に注意が必要である。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。過去の同時期と同様、季節的流行のピーク時からの減少が急である。

(定点医療機関からのコメント)

今週はありません。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年33週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月				5	2	1		3		
～11か月	3			39		9		34		21
1歳	4	17	3	55	14	45	1	23		64
2歳	2	7	5	33	10	23	1	5		50
3歳	1	11	6	26	11	26	1			36
4歳		10	5	26	6	14		1		17
5歳		8	10	21	1	5	1			13
6歳		2	8	15	3	5	2			6
7歳		1	6	10	3	4				3
8歳		1	3	12	1	3				6
9歳		2	3	8						5
10～14歳			2	17		2				2
15～19歳				11						1
20～29歳		3	6	37	1	5				3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	10	62	57	315	52	142	6	66		227
先週比	2	-66	-38	-140	-27	-88	-5	-47	-8	-177

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2				
～11か月		1				
1歳	1	6				
2歳	6	2	1			
3歳	2	5				
4歳	8	1				1
5歳	11					1
6歳	13					
7歳	4					
8歳	2					
9歳	1					3
10～14歳	2					1
15～19歳		1				
20～29歳	1					
30～39歳					1	2
40～49歳						4
50～59歳						2
60～69歳						
70～79歳						1
80歳以上						
合計	51	18	1		1	15
先週比	-38	-1		-5		-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2008年33週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳	1	
4歳		
5歳	1	1
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳	1	2
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	3	4

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年33週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1									
中央区			1		3	1		1		
みなと	1	4	2	10	4	8		6		11
新宿区		1	2	7	3	6		8		14
文京			1	1						
台東			4					1		3
墨田区		1			1	4				3
江東区				19	1	2		1		3
品川区			5	13	2	9	1	6		12
目黒区								1		6
大田区	5	2	3	15	1	5		1		13
世田谷			2	6	2	3		3		2
渋谷区				9						2
中野区		1	2	47	2	16	1			23
杉並				11	2	4		2		5
池袋			1	4		3		1		1
北区		1		5	1	6		2		5
荒川区				1	2			1		2
板橋区			2	1	1	1				
練馬区			1	2	1					3
足立			1	23	2	4		1		5
葛飾区			1	1	3	1		3		9
江戸川		7	3	1	2	5		3		3
八王子市	3	22	11	32	5	13	3	7		3
西多摩		2		2	1					7
南多摩		2		7		8				12
町田		2	11	28	7	13		4		16
多摩立川		3		11	1	2		1		15
多摩府中		4		15	1	14		4		11
多摩小平		10	4	44	4	14	1	9		30
島しょ										8
東京都合計	10	62	57	315	52	142	6	66	-	227

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年33週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1					
中央区						
みなと	2		1			
新宿区	3	2				2
文京						2
台東	2					
墨田区						
江東区	2	1				1
品川区		1				
目黒区						2
大田区	2					1
世田谷		1				1
渋谷区	1					
中野区	7					1
杉並	1					
池袋	1					
北区	1					
荒川区	2					
板橋区						
練馬区	1					
足立	7	2				
葛飾区	5	1				
江戸川						2
八王子市	3	1				
西多摩						2
南多摩		1				
町田	4	5				
多摩立川	2	1				
多摩府中	3	2			1	
多摩小平	1					1
島しょ						

東京都合計	51	18	1	-	1	15
-------	----	----	---	---	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区	1	1
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市	2	
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		1
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	3	4
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年33週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.33									
中央区			0.50		1.50	0.50		0.50		
みなと	0.17	0.67	0.33	1.67	0.67	1.33		1.00		1.83
新宿区		0.17	0.33	1.17	0.50	1.00		1.33		2.33
文京			0.33	0.33						
台東			1.33					0.33		1.00
墨田区		0.50			0.50	2.00				1.50
江東区				4.75	0.25	0.50		0.25		0.75
品川区			1.00	2.60	0.40	1.80	0.20	1.20		2.40
目黒区								0.33		2.00
大田区	0.56	0.22	0.33	1.67	0.11	0.56		0.11		1.44
世田谷			0.40	1.20	0.40	0.60		0.60		0.40
渋谷区				2.25						0.50
中野区		0.17	0.33	7.83	0.33	2.67	0.17			3.83
杉並				1.83	0.33	0.67		0.33		0.83
池袋			0.20	0.80		0.60		0.20		0.20
北区		0.25		1.25	0.25	1.50		0.50		1.25
荒川区				0.50	1.00			0.50		1.00
板橋区			0.33	0.17	0.17	0.17				
練馬区			0.20	0.40	0.20					0.60
足立			0.25	5.75	0.50	1.00		0.25		1.25
葛飾区			0.25	0.25	0.75	0.25		0.75		2.25
江戸川		2.33	1.00	0.33	0.67	1.67		1.00		1.00
八王子市	1.00	7.33	3.67	10.67	1.67	4.33	1.00	2.33		1.00
西多摩										
南多摩		0.67		2.33		2.67				4.00
町田		1.00	5.50	14.00	3.50	6.50		2.00		8.00
多摩立川		0.50		1.83	0.17	0.33		0.17		2.50
多摩府中		0.40		1.50	0.10	1.40		0.40		1.10
多摩小平		1.67	0.67	7.33	0.67	2.33	0.17	1.50		5.00
島しょ										8.00

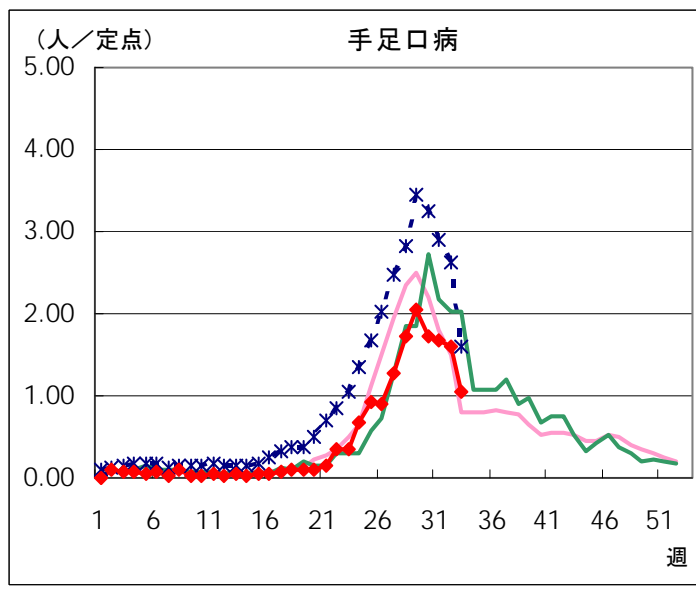
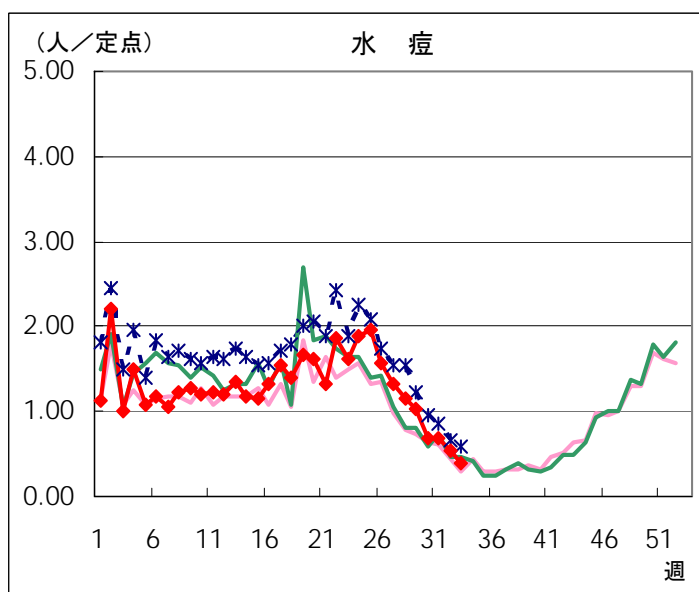
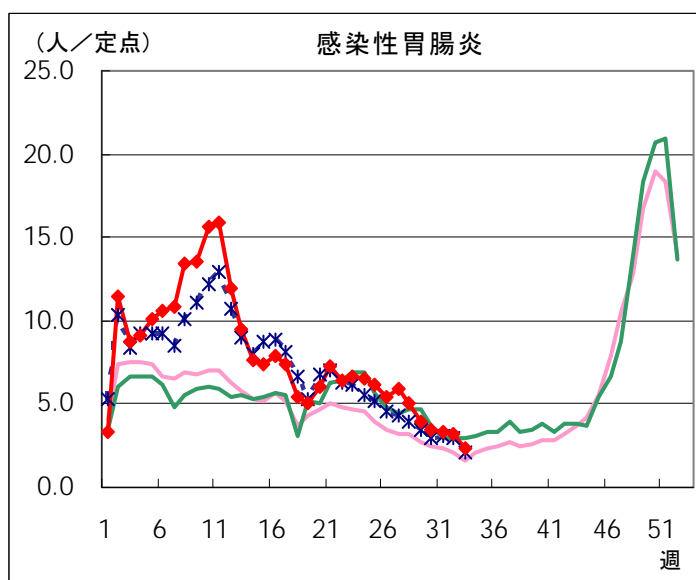
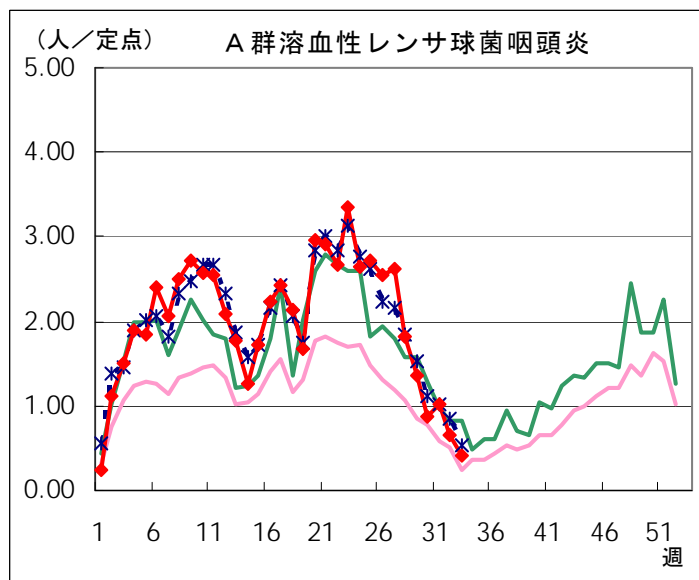
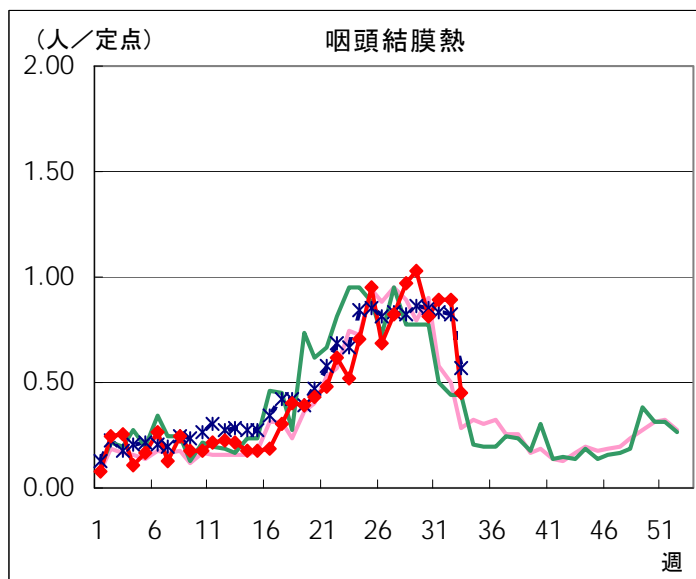
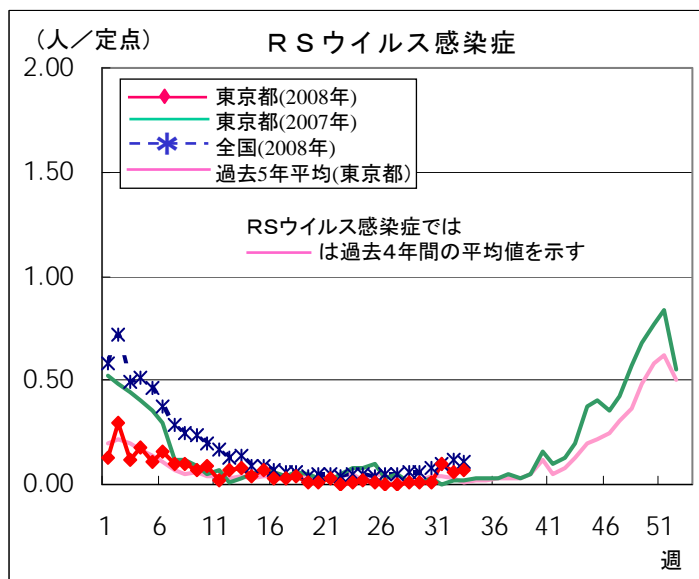
東京都	0.07	0.46	0.42	2.32	0.38	1.04	0.04	0.49	-	1.67
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	---	------

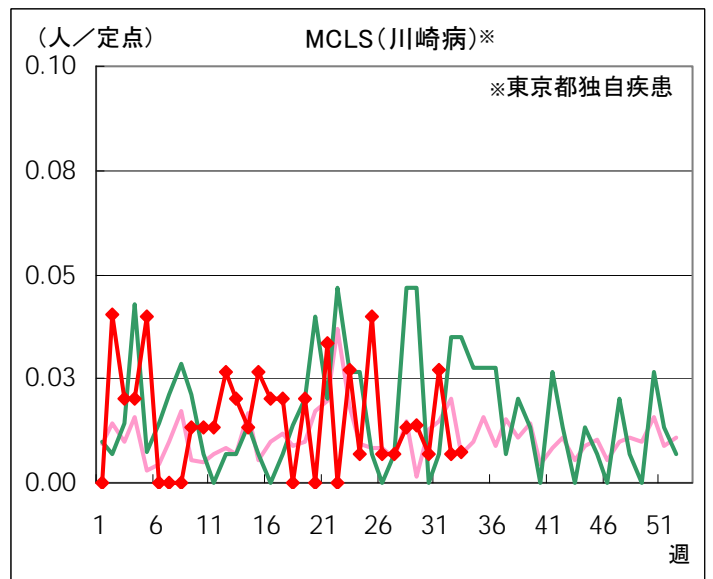
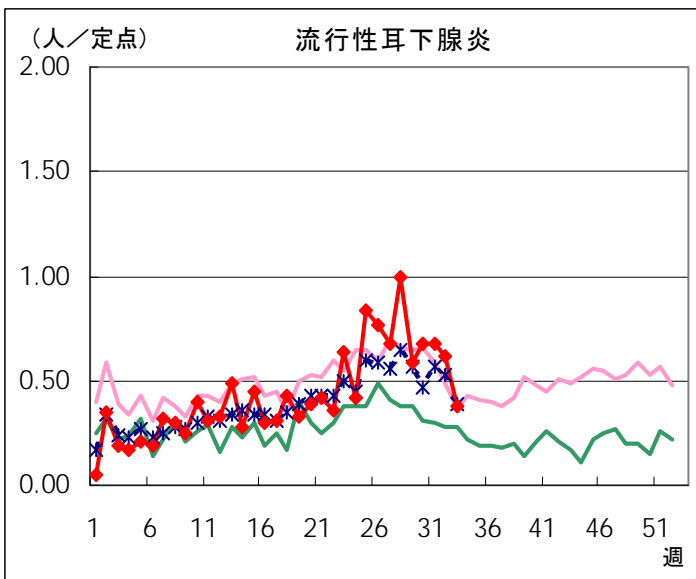
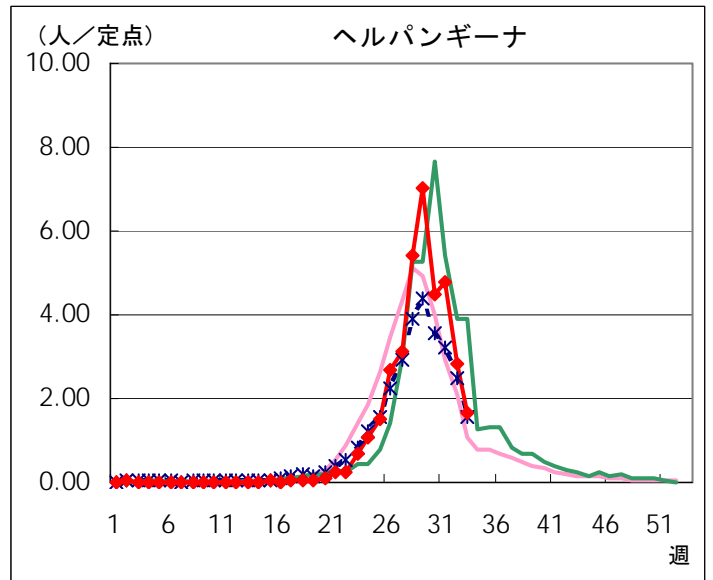
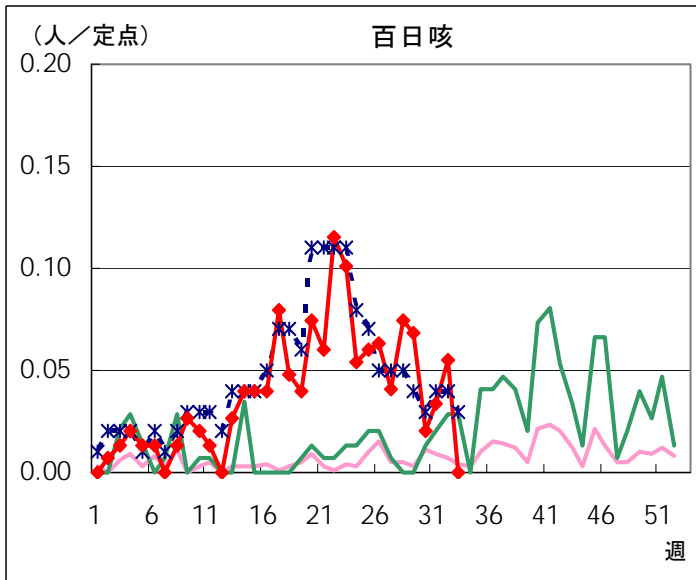
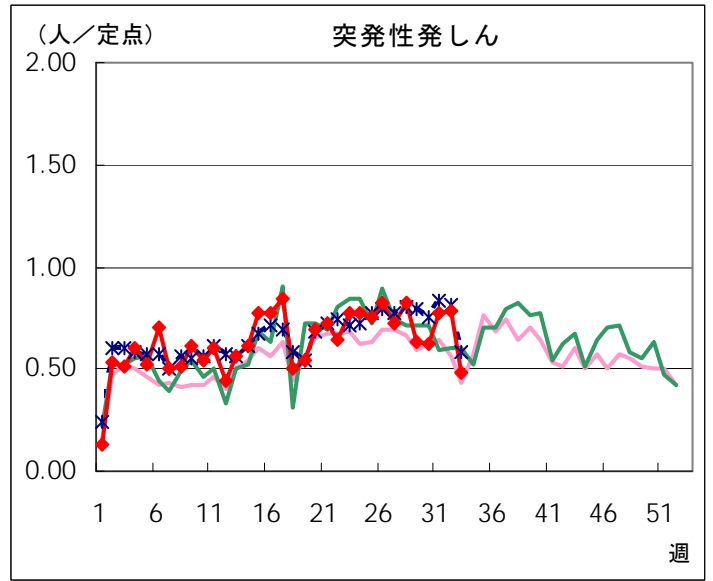
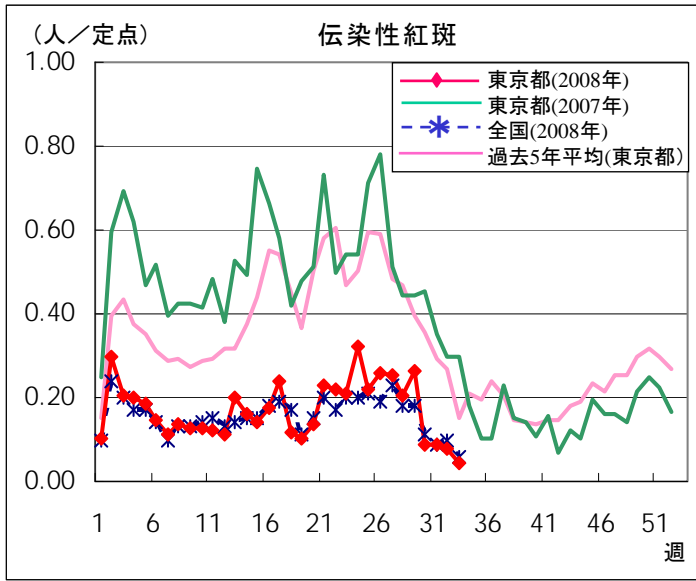
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.33					
中央区						
みなと	0.33		0.17			
新宿区	0.50	0.33				1.00
文京						2.00
台東	0.67					
墨田区						
江東区	0.50	0.25				1.00
品川区		0.20				
目黒区						2.00
大田区	0.22					0.50
世田谷		0.20				1.00
渋谷区	0.25					
中野区	1.17					1.00
杉並	0.17					
池袋	0.20					
北区	0.25					
荒川区	1.00					
板橋区						
練馬区	0.20					
足立	1.75	0.50				
葛飾区	1.25	0.25				
江戸川						1.00
八王子市	1.00	0.33				
西多摩						
南多摩		0.33				
町田	2.00	2.50				
多摩立川	0.33	0.17				
多摩府中	0.30	0.20			0.50	
多摩小平	0.17					0.50
島しょ						

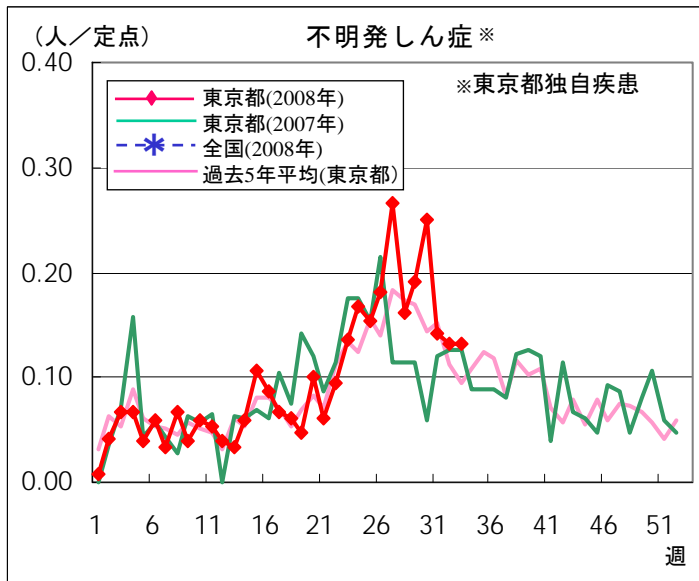
東京都	0.38	0.13	0.01	-	0.03	0.42
-----	------	------	------	---	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年33週現在

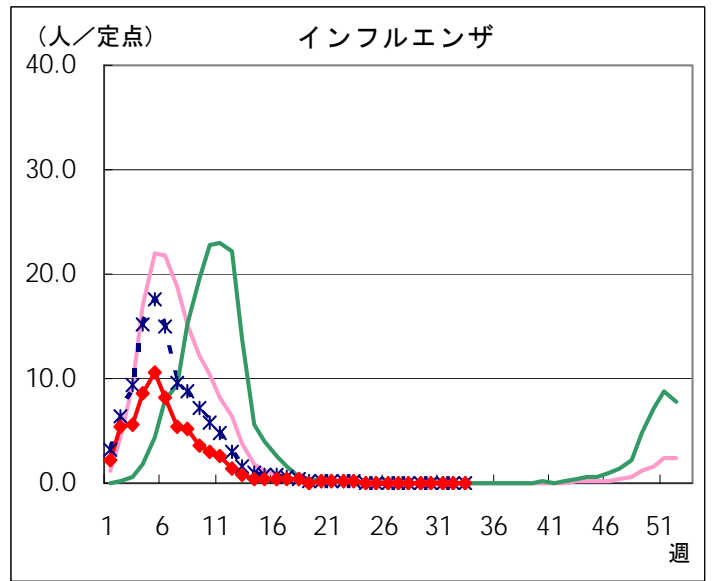
◆ 小児科定点



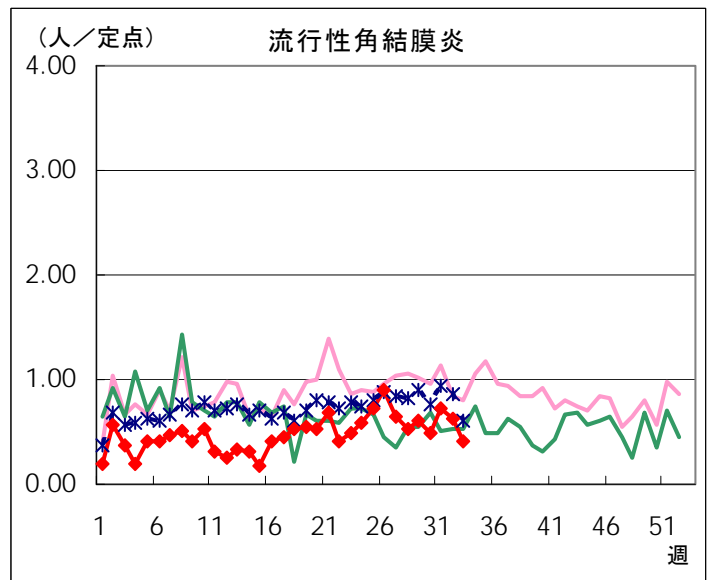
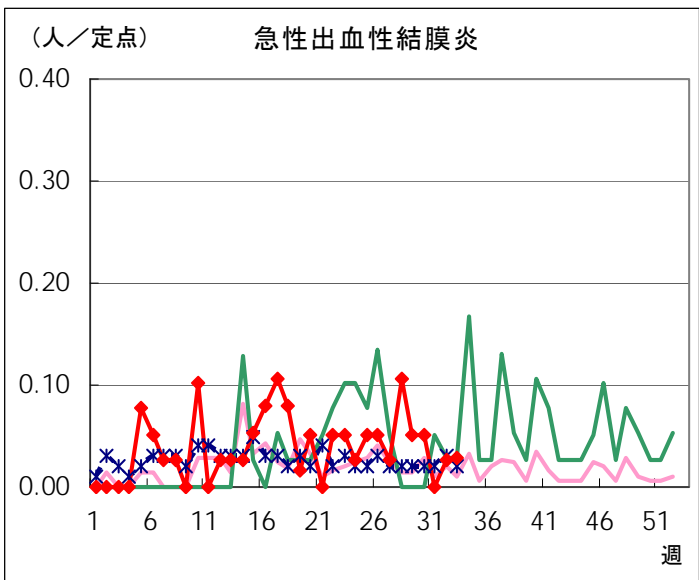




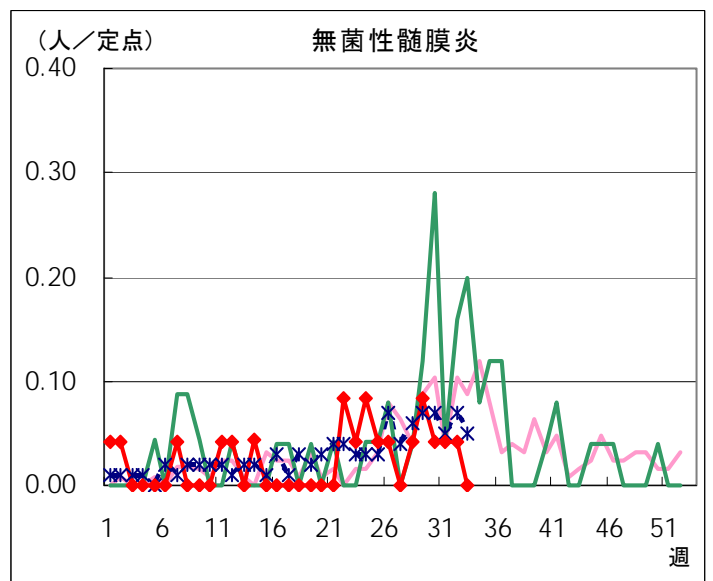
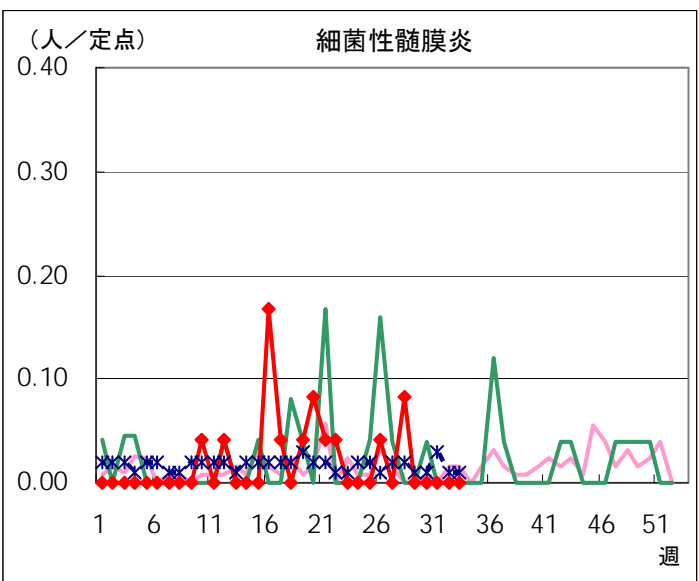
◆ インフルエンザ定点

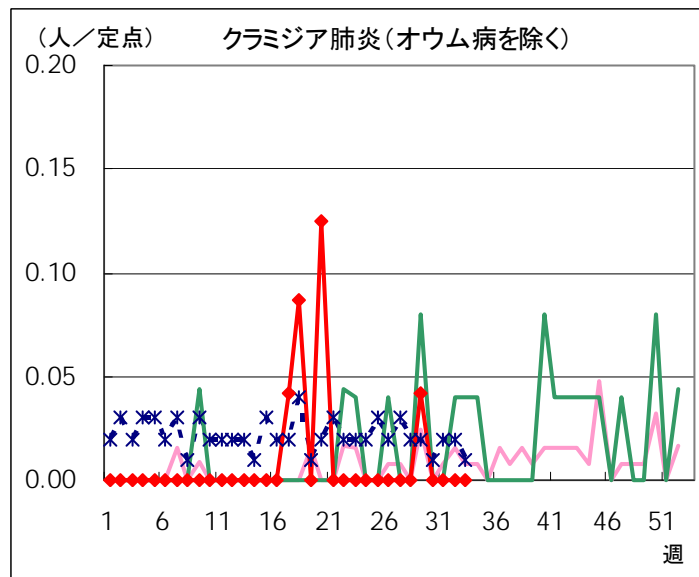
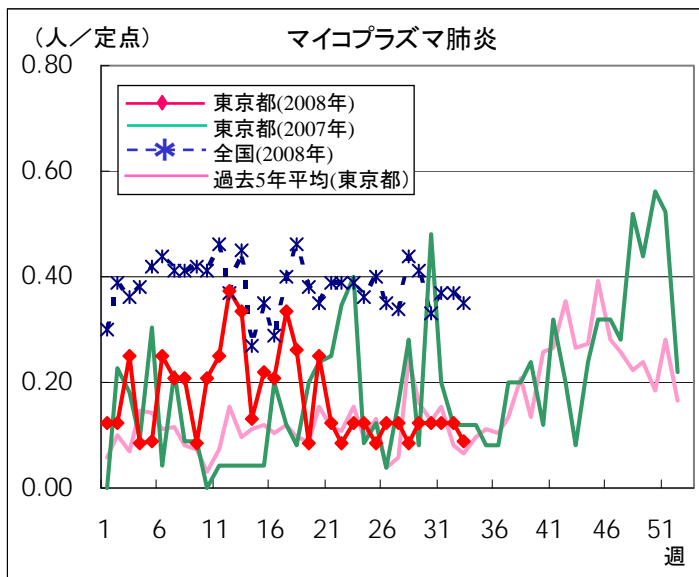


◆ 眼科定点

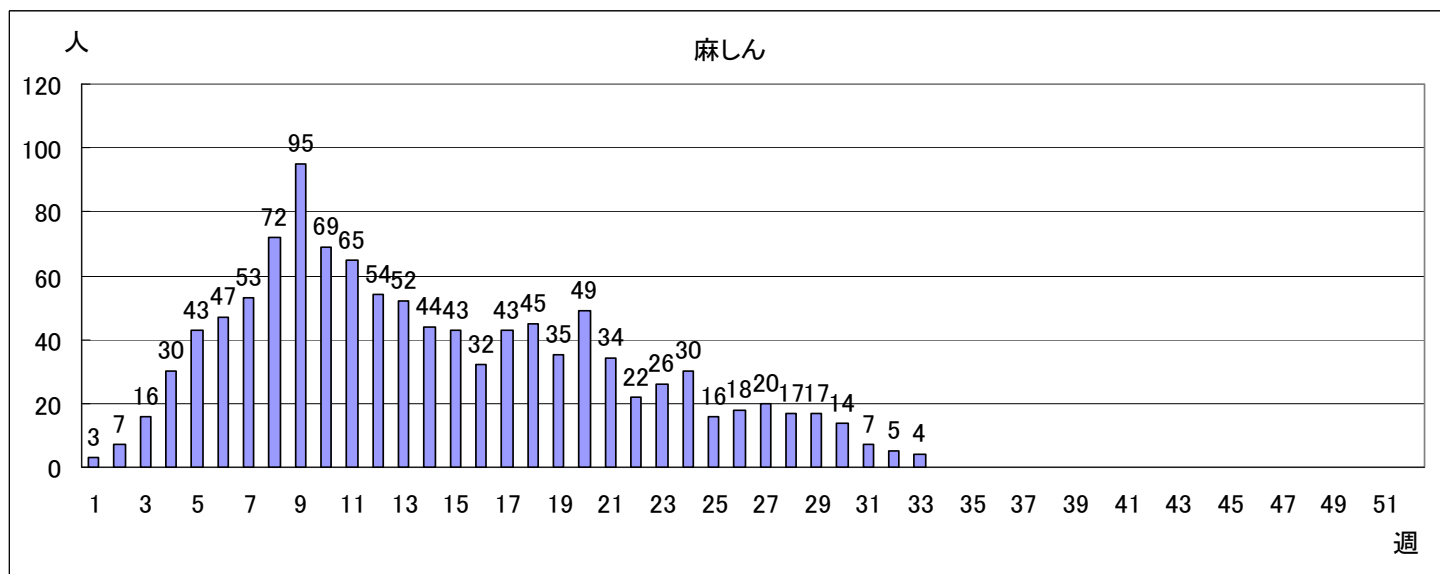


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年33週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/29	溶連菌感染症	7	咽頭(菌株)	A群溶連菌T-12型	血清型
7/30	熱性けいれん 咽頭炎	3M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
7/31	ヘルパンギーナ	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/1	ヘルパンギーナ (手足口病)	5M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/1	急性咽頭炎 髄膜炎	7	咽頭拭い液	EBウイルス	
8/1	頸部リンパ節炎 マイコプラズマ肺炎	12	咽頭拭い液	EBウイルス	
8/2	急性上気道炎	12	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
8/2	ヘルパンギーナ	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/2	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、 ヒトヘルペスウイルス6型	
8/2	百日咳疑い	記載無し	咽頭拭い液	MSSAコアグラーゼIV型	分離同定
8/3	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
8/3	溶連菌感染症	2	咽頭拭い液	A群溶連菌T-4型	分離同定
8/4	ウイルス性腸炎	3M	糞便	ロタウイルス	抗原
8/4	不明発しん症	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
8/4	不明発しん症	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/4	感染性腸炎	1	糞便	エンテロウイルス、サポウイルス	
8/4	下痢	2	糞便	エンテロウイルス	
8/4	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/4	不明発しん症	10M	結膜拭い液	エンテロウイルス	
8/4	急性咽頭炎 アデノウイルス感染症	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型	
8/4	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶連菌T-4型	分離同定

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/5	感染性腸炎	16	糞便	腸管出血性大腸菌O26 (VT1産生)	分離同定
8/5	感染性胃腸炎	10M	糞便	エンテロウイルス、サポウイルス	遺伝子
8/5	咽頭炎	1	糞便	パラインフルエンザウイルス2型	
8/5	気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/5	手足口病	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/5	感染性腸炎	16	糞便	エンテロウイルス	
8/5	急性咽頭炎	3	うがい液	パラインフルエンザウイルス1型	
8/5	無菌性髄膜炎	4	髄液	ムンプスウイルス	
8/6	咽頭炎	1	糞便	エンテロウイルス	
8/6	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、 単純ヘルペスウイルス1型	
8/6	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス、 ムンプスウイルス	
8/7	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/7	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/8	急性咽頭炎、不明熱 ウイルス性発しん症	3	うがい液	アデノウイルス	
8/8	突発性発しん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、 ヒトヘルペスウイルス6型	
8/8	ウイルス感染症	11M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
8/8	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、 サイトメガロウイルス	
8/8	不明発しん症	6M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、 サイトメガロウイルス	
8/8	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/8	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	95	糞便(菌株)	バンコマイシン耐性腸球菌 <i>Enterococcus faecium</i> <i>van A</i> 遺伝子保有	菌種同定 遺伝子

* 30週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		25	26	27	28	29	30	31	32
ウイルス	アデノウイルス	7	6	17	12	5	3	7	2
	ライノウイルス	4	9		8		3	2	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス			1					
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	5	14		14	18	16	25	22
	単純ヘルペスウイルス	3			1	1		1	1
	水痘・帯状疱疹ウイルス					2			
	ヘルペスウイルス6/7	5	6		8	6	8	5	3
	EBウイルス	4	5		2	1	4	4	2
	サイトメガロウイルス	4	2			1	1		3
	ムンプスウイルス	1	2			1	2	2	3
	麻疹ウイルス	1							
	風疹ウイルス	1							
	パルボウイルスB19					1		2	
	RSウイルス							1	
	ノロウイルス	1							
	ロタウイルス						1	1	1
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
デングウイルス							2		
その他のウイルス	6	7		4	6	4	1	6	
細菌	カンピロバクター				2				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌							1	1
	その他の腸管系病原菌			1					
	溶血性レンサ球菌	5		8	1	2			3
	その他の細菌	1	1	8	3	7	1	2	1
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年25週～32週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	20	111	62	42	69	6	9	12	25	11	2	44	14	2		3	203	
ウイルス	アデノウイルス	7	18	4	4		2	2	4	3		4	1				10	
	ライノウイルス		3	7			1		1	3		4	2				5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス	1																
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		26	10	11	5	2		14	7		13	3					23
	単純ヘルペスウイルス				1	1			1									4
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													2				
	ヘルペスウイルス6/7		4	1		1			2	1		11						21
	EBウイルス		3	2								1	4	6				6
	サイトメガロウイルス			2									1					8
	ムンプスウイルス					2								7				2
	麻しんウイルス		1															
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19											2					1	
	RSウイルス			1														
	ノロウイルス				1													
	ロタウイルス				3													
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3																	
	インフルエンザウイルスB																	
デングウイルス					1												1	
その他のウイルス		13	15	2		1						1					2	
細菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌				2													
	その他の腸管系病原菌																1	
	溶血性レンサ球菌		10	1				8										
その他の細菌		20	2								1						1	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年7月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	103	1.87	55	55
		女	119	2.16		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	46	0.84		
		女	37	0.67		
	尖圭コンジローマ	男	50	0.91		
		女	34	0.62		
	淋菌感染症	男	86	1.56		
		女	10	0.18		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	16	0.29		
梅毒様疾患	男	3	0.05			
	女	2	0.04			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	23	1.00	23	24
		女	15	0.65		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	86	3.74		
		女	45	1.96		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	0	0.00		
2008/8/8集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年7月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1		1	4		
20～24歳	10	2	10	13		
25～29歳	22	12	9	19		2
30～34歳	23	10	11	19		
35～39歳	18	5	5	14		
40～44歳	11	5	6	4		
45～49歳	7	6	3	7		
50～54歳	8	1	2	6		
55～59歳	2	3				1
60～64歳		1	1			
65～69歳		1	2			
70歳～	1					
合計	103	46	50	86	0	3
先月数	126	51	63	90	1	5
増減数	-23	-5	-13	-4	-1	-2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	11	1	2	2	1	
20～24歳	27	5	14	3	2	
25～29歳	33	11	8	2	1	
30～34歳	24	7	6	1	3	
35～39歳	16	3	3	1		2
40～44歳	7	3	1	1	4	
45～49歳		1			1	
50～54歳	1	2			1	
55～59歳		3				
60～64歳					2	
65～69歳						
70歳～		1			1	
合計	119	37	34	10	16	2
先月数	144	30	30	19	10	0
増減数	-25	7	4	-9	6	2

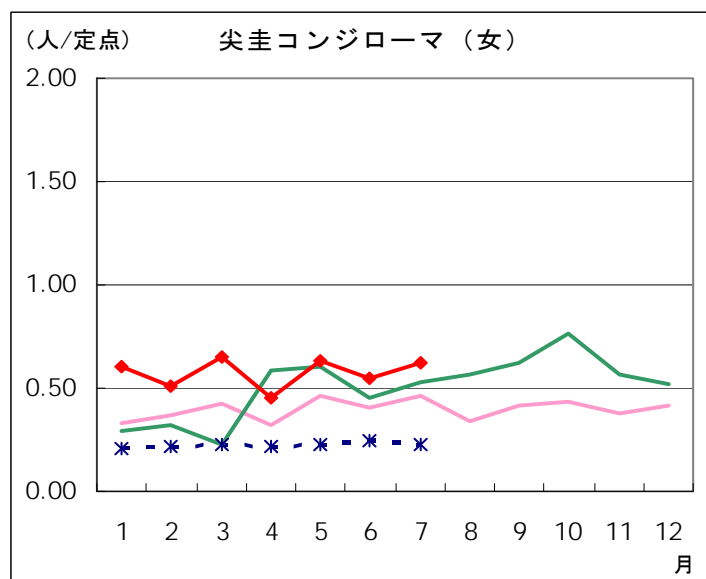
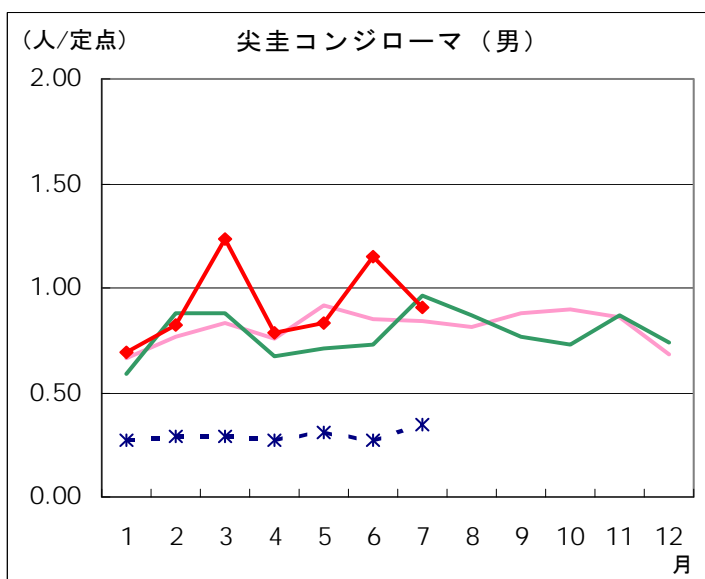
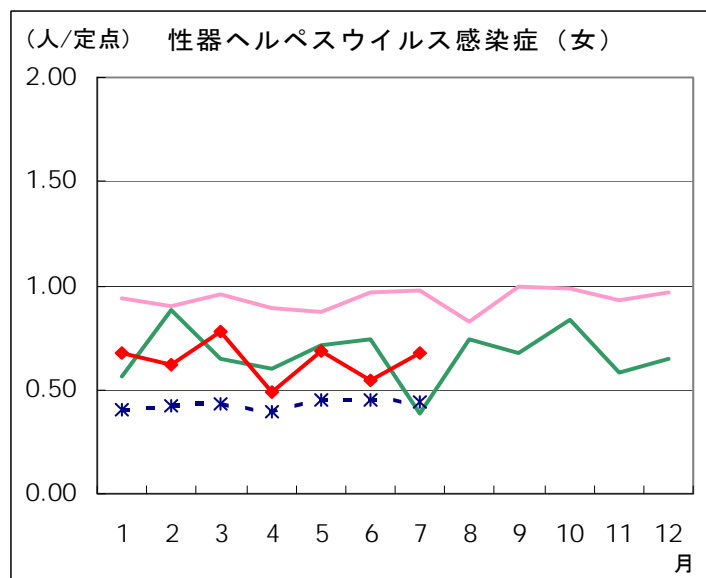
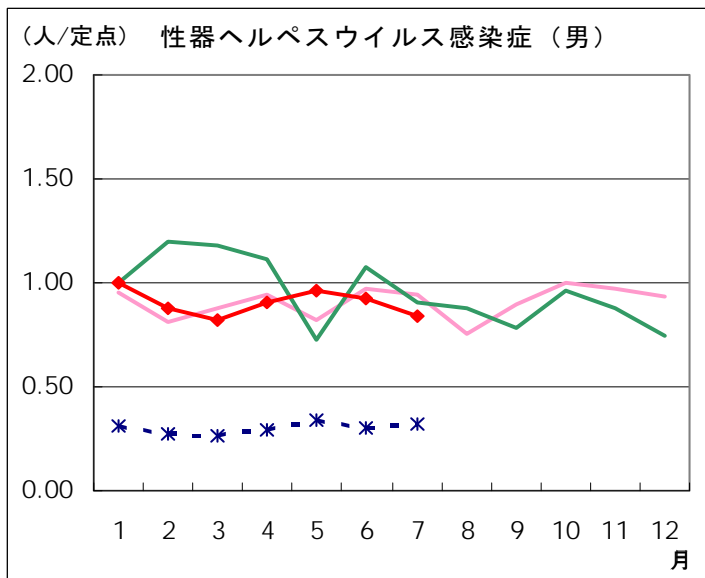
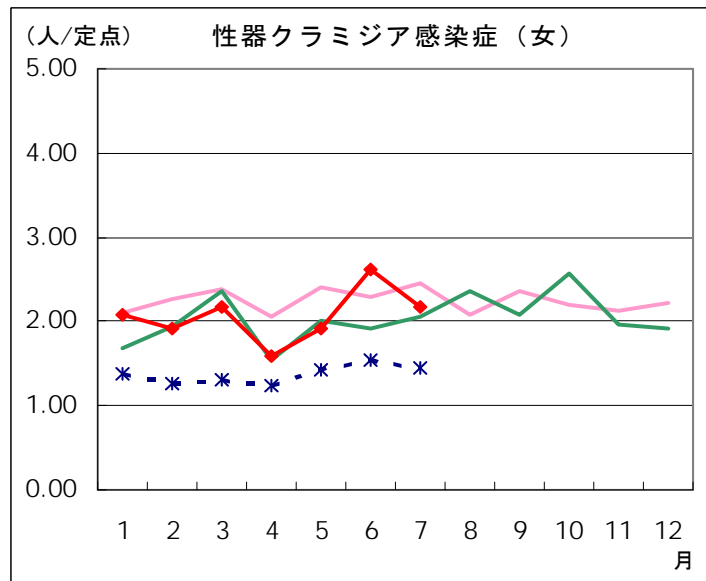
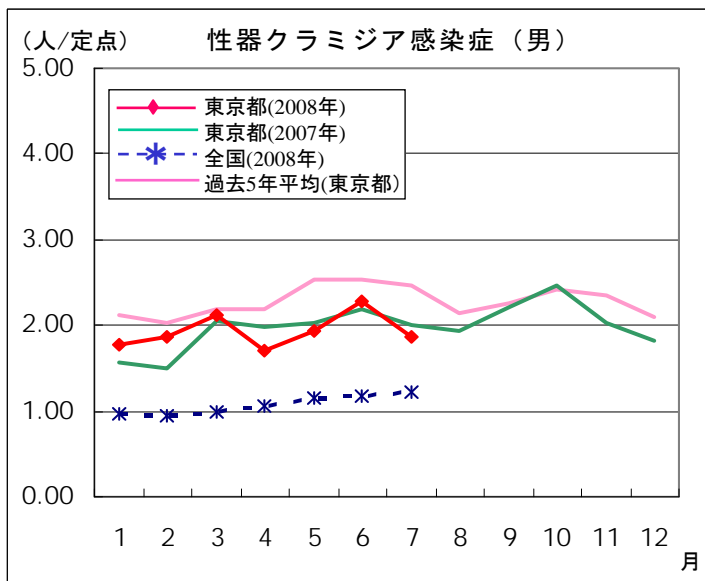
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年7月

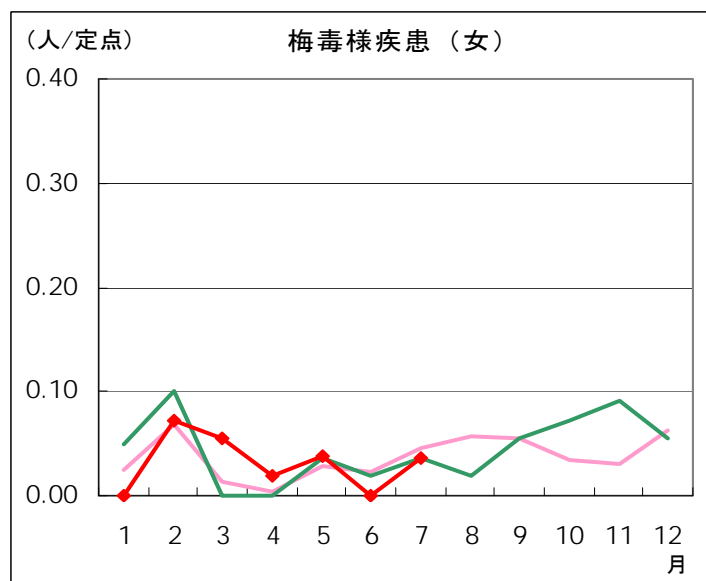
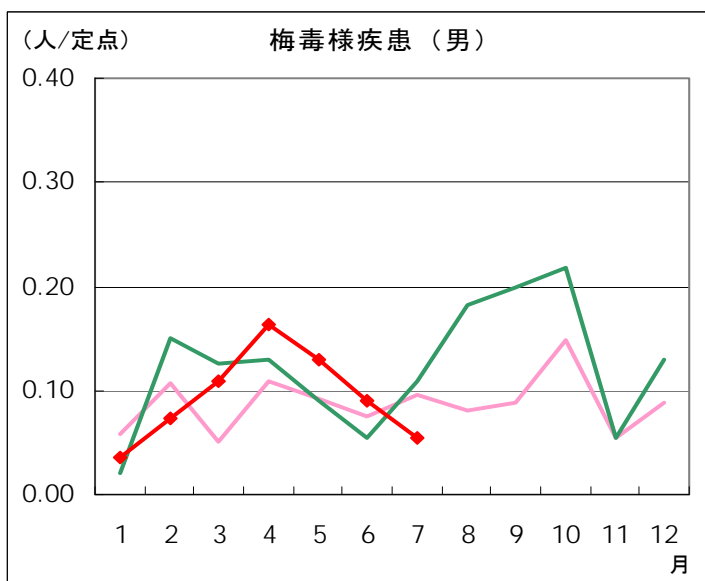
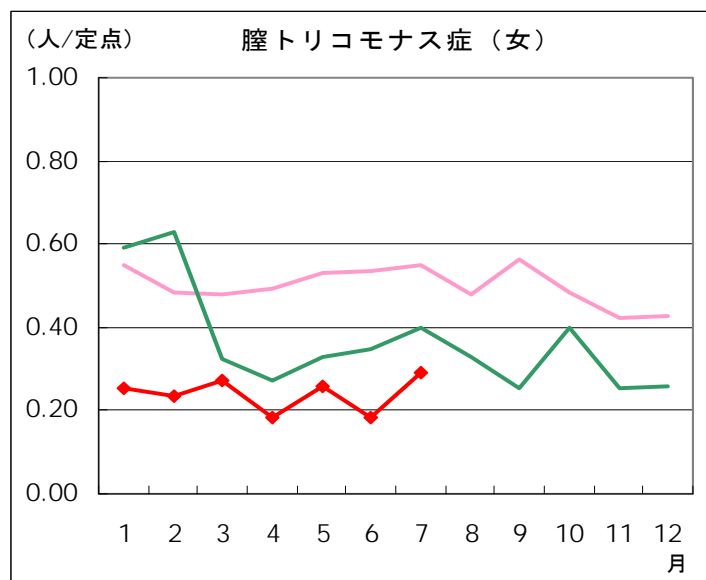
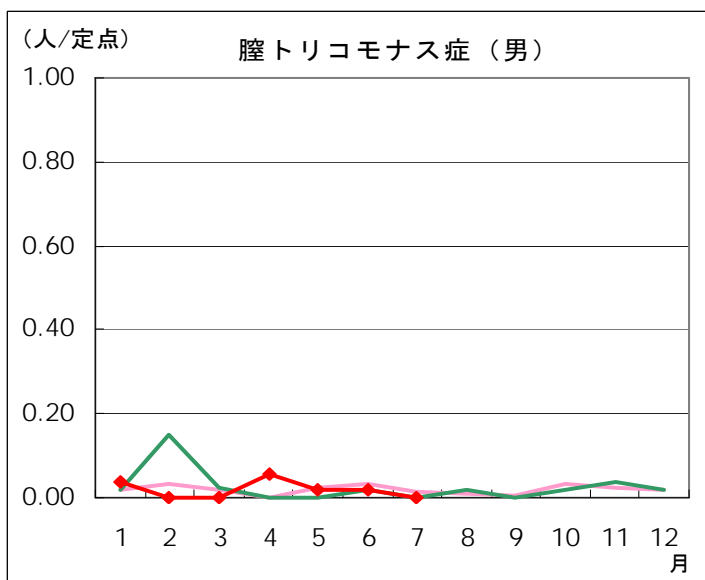
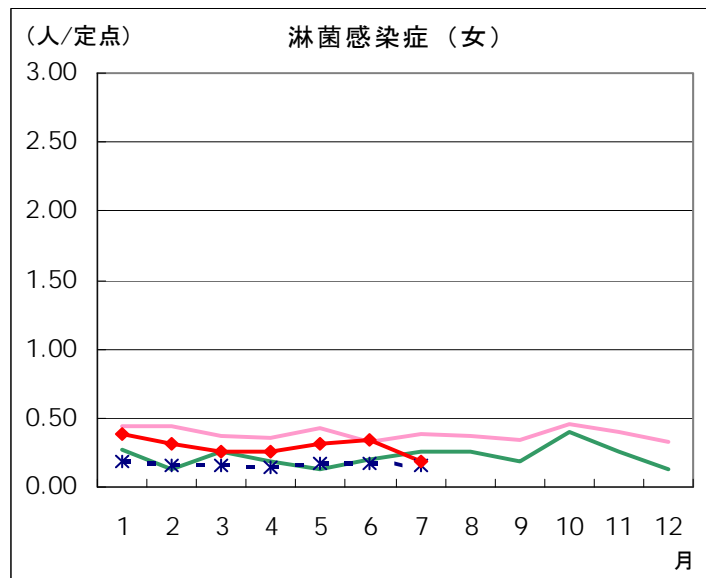
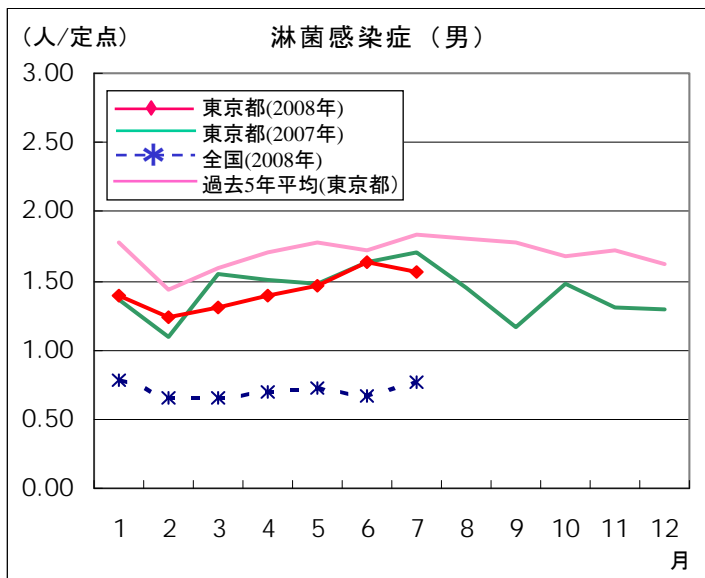
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	15	2	2	14		
中央区	3	4			5		
みなの	2	5	1	2	1		
新宿区	6	25	22	22	32		1
文京	1	7		2	2		
台東	3				1		
墨田区	2	3	4	1	1		
江東区	2	8	5	4	10		
品川区	1			1			
大田区	2	4			3		
渋谷区	5	8	6		2		1
中野区	2	4	1		1		
杉並	2	3		1	1		
池袋	3	13	4	8	7		1
北区	1			1			
荒川区	1						
板橋区	2	2	1	3			
足立	2	2		2	4		
江戸川	2			1	1		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3				1		
多摩小平	1						
合 計	55	103	46	50	86		3
定点当たり		1.87	0.84	0.91	1.56		0.05

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	3	1				
中央区	3	8					
みなの	2	4	3	3	1		
新宿区	6	7	6	4	3		
文京	1						
台東	3	12	3	1	2	3	1
墨田区	2			2			
江東区	2		1			2	
品川区	1						
大田区	2	2					
渋谷区	5	6	6	12			
中野区	2	4	1	1		2	
杉並	2	1		1		1	
池袋	3	9	4	6		3	1
北区	1						
荒川区	1	2	1				
板橋区	2	8	2		1		
足立	2						
江戸川	2	14	4	1		3	
八王子市	4	19	4	2	1	1	
町田	1	1				1	
多摩立川	2	18		1	1		
多摩府中	3						
多摩小平	1	1	1		1		
合 計	55	119	37	34	10	16	2
定点当たり		2.16	0.67	0.62	0.18	0.29	0.04

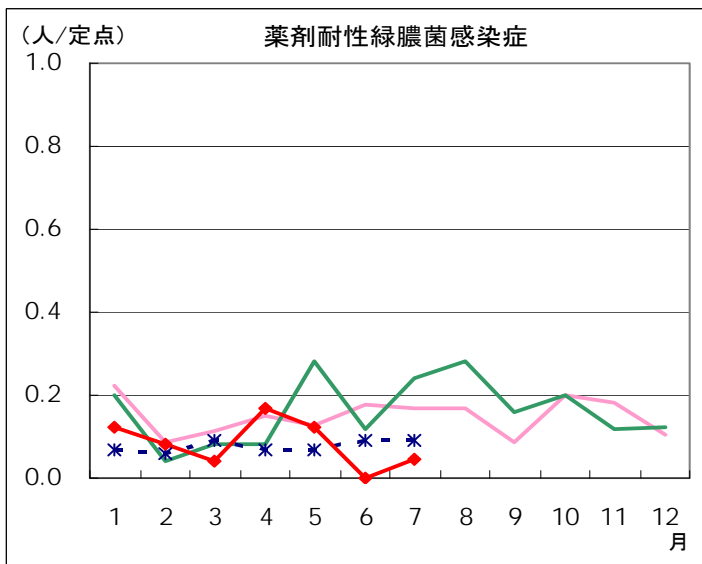
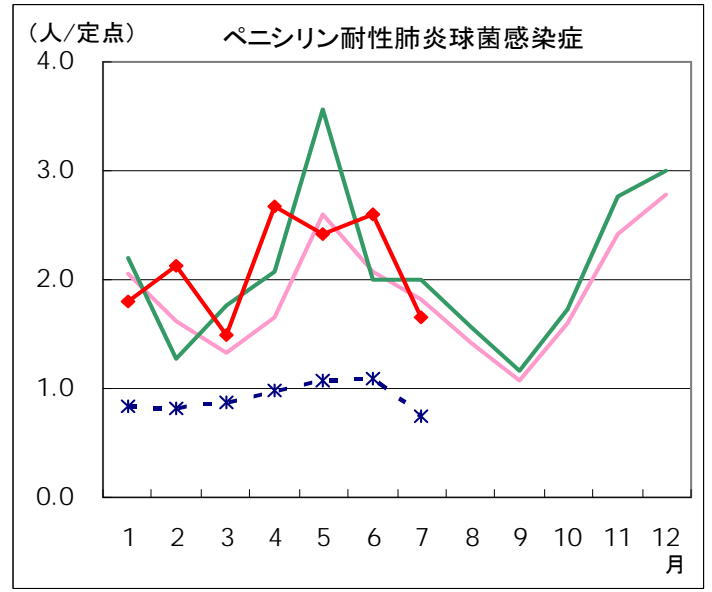
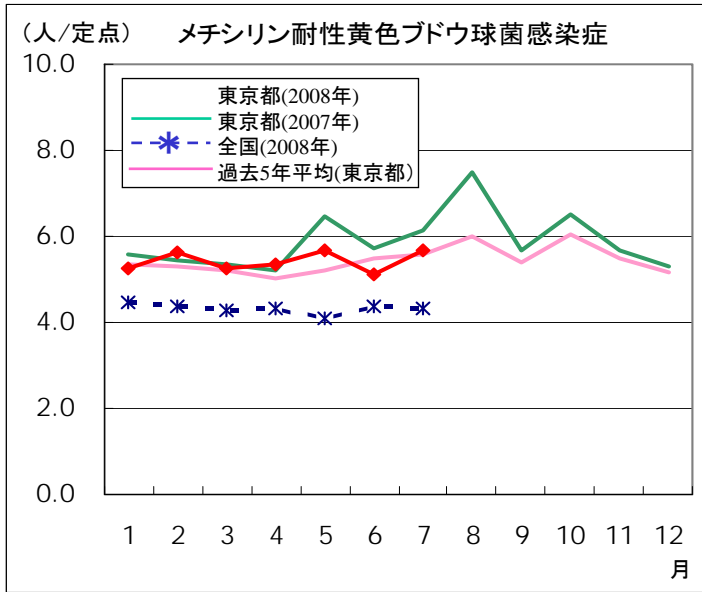
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年7月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
7/1	尿道炎	21	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
7/3	尖圭コンジローマ	18	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	
7/7	陰茎ヘルペス疑い	54	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
7/8	陰茎ヘルペス	58	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
7/9	性器ヘルペス	28	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
7/14	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
7/15	尿道炎	23	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
7/15	頸管炎 膻炎	28	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
7/16	外陰部ヘルペス	66	女	皮膚病巣(水泡内容)	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
7/22	尖圭コンジローマ	68	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス11型	
7/22	尿道炎	31	男	尿	淋菌	
7/22	クラミジア	25	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
7/23	陰茎ヘルペス	55	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
7/23	トリコモナス膻炎	46	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	トリコモナス、クラミジア	
7/23	淋菌性尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
7/24	尿道炎	56	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
7/28	尿道炎	33	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子